

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じる事故が想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は行為を禁止する内容を告げるもの。図の中は分解禁止が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● アースを確実に取り付けること
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

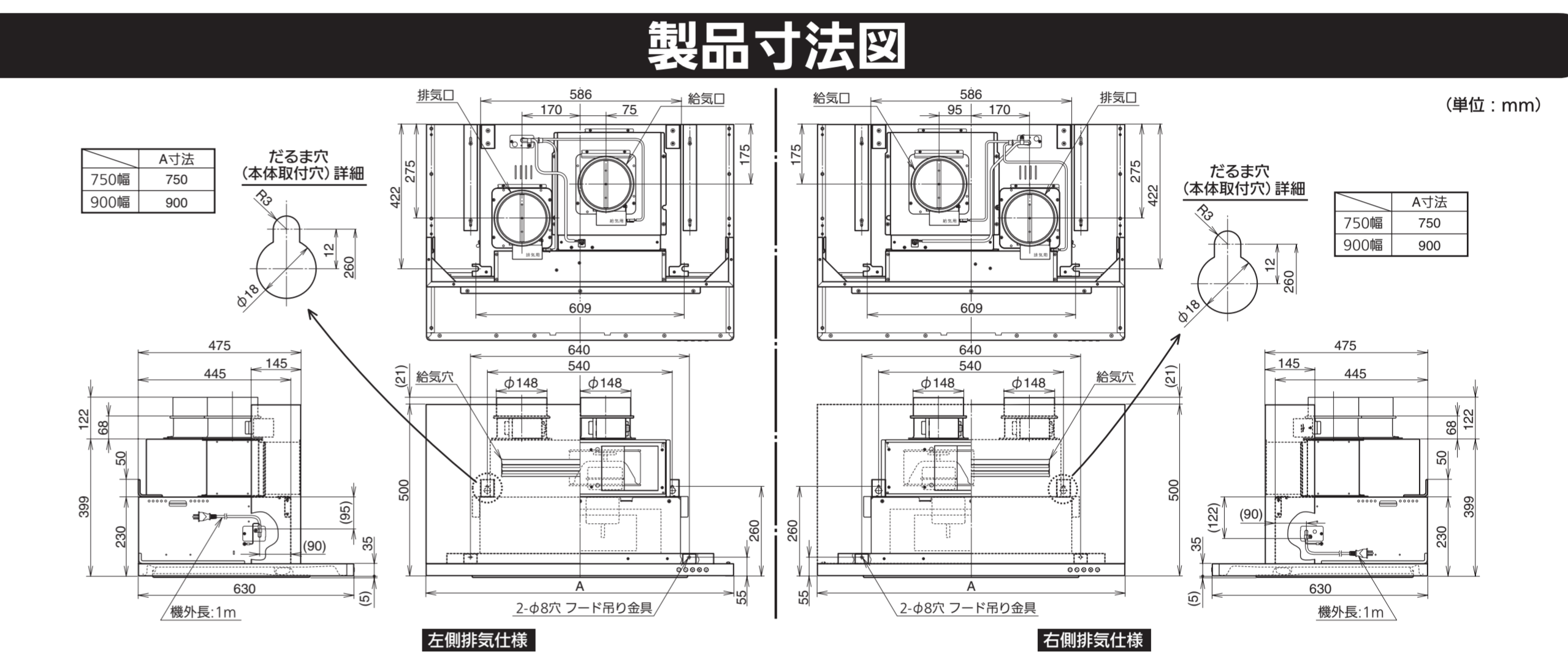
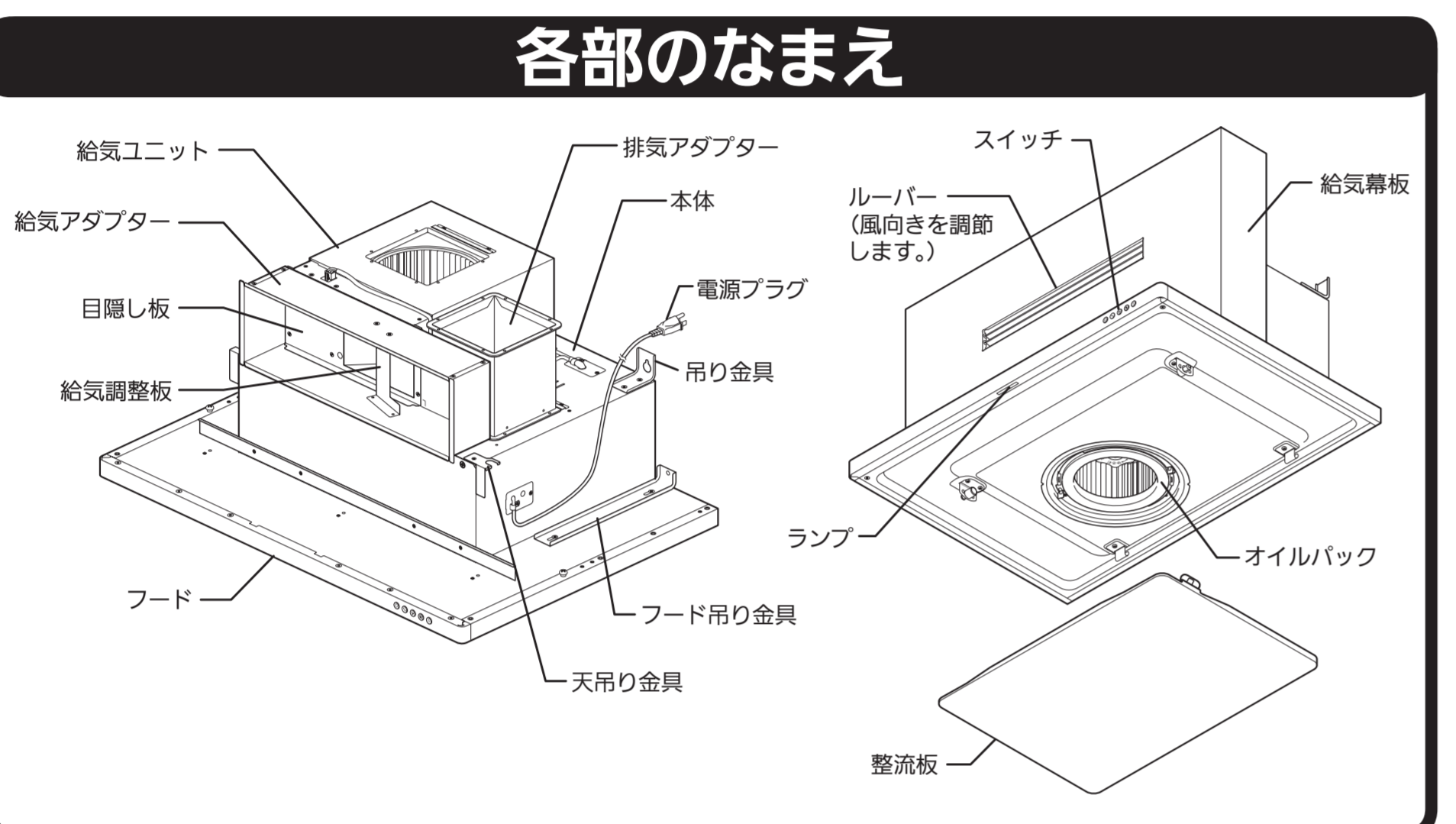
注意
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板と電氣的に接触しないよう取り付けのこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けのこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

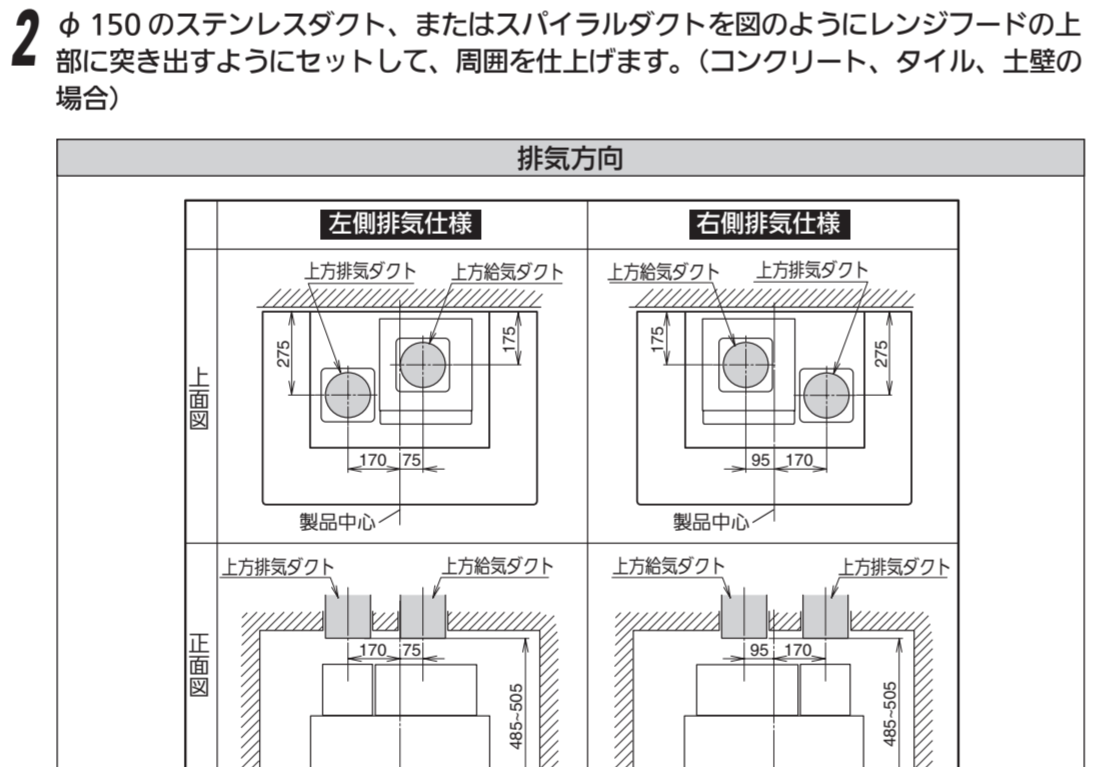
取り付け上のお願い
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● 大工工事【設置のための下地工事等】
● 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
● 流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
● ダクトの不燃処理について
● 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通過抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

取り付け前の調査と準備
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けのこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
注意
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
1 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要です。
製品単体質量
750 個 32kg
900 個 34kg
● 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）
● 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
● 板厚が 20mm 以上の場合には補強板の必要はありません。
● コンクリート、タイル壁の場合
● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
● 土壁の場合
● 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。



取り付けかた (Installation method)

1. 付属品の確認
注意
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
付属品を確認します。
梱箱から付属品を取り出し、上項中央の付属品一覧により不足がないか確認します。
お願い
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「8. 取扱説明書およびオイルバック固定テープの取りはずし」まではずさないでください。
● 床で作業する場合は、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。



5. 本体の取り付け
注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 部品の取り付けは確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。(図 5-1)
製品寸法図を参照し、吊り金具のだるま穴位置（左右各 1ヶ所）に、付属品の座付ねじ（φ5.1×45）を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。(図 5-1)

6. ダクトと給気用・排気用部品の接続
お願い
ドリリングタッピングなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピングの使用範囲以内に固定してください。(図 6-1)
ダクトと給気口・排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。(図 6-2)

2. 本体の準備
■ 事前に取り付けした吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。(図 2-1)
吊りボルト上側のフランジ付き六角ナットの位置（天吊り金具取付位置）は製品寸法図を参考にあらかじめセットしておくことと後作業が容易になります。
※ 吊りボルトとフランジ付き六角ナットは取付作業側で手配願います。

4. 給気用・排気用部品の準備
以下は右側排気の場合を示します。左側排気の場合は左右対称として見てください。
※ 「1. 付属品の確認」の項で取り出した給気口および排気口を用意してください。
お願い
手動でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。
1 給気口および排気口を準備します。(図 4-1)
給気口および排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。(図 4-1)

2 本体を壁面に引っ掛けます。(図 5-2)
本体を持ち上げて天吊り金具に吊りボルトを差し込みながら、ダクトに給気口・排気口を差し込み（①）、手順 1 で壁面に取り付け、だるま穴用座付ねじに吊り金具を引っ掛けます（②）。

■ 給気口・排気口設置面の漏れ確認のお願い (図 6-3)
給気口・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトに接続しようとすると、破損面（樹脂面等）が変形し、風漏れが発生してしまふ場合があります。
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。試運転する場合は、給気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

3. 給気・排気方向の決定
警告
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板と電氣的に接触しないよう取り付けのこと
● 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 火災などの原因になります
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 詳細は、所轄の消防署に問い合わせください

2 給気口を取り付けます。(図 4-2)
お願い
付属品の給気口・排気口には、それぞれ「給気用」「排気用」の表示があります。給気口は給気ユニットの上、排気口は排気アダプターの上に取付けてください。取り付けの際は十分ご確認の上、取付位置を間違えないようご注意ください。
給気口を差込口に差し込み、付属品のナベねじ（M4×8）2本で取付けます。取付方向は右図を参照してください。
※ 取付位置にあるコネクターははずさないでください。

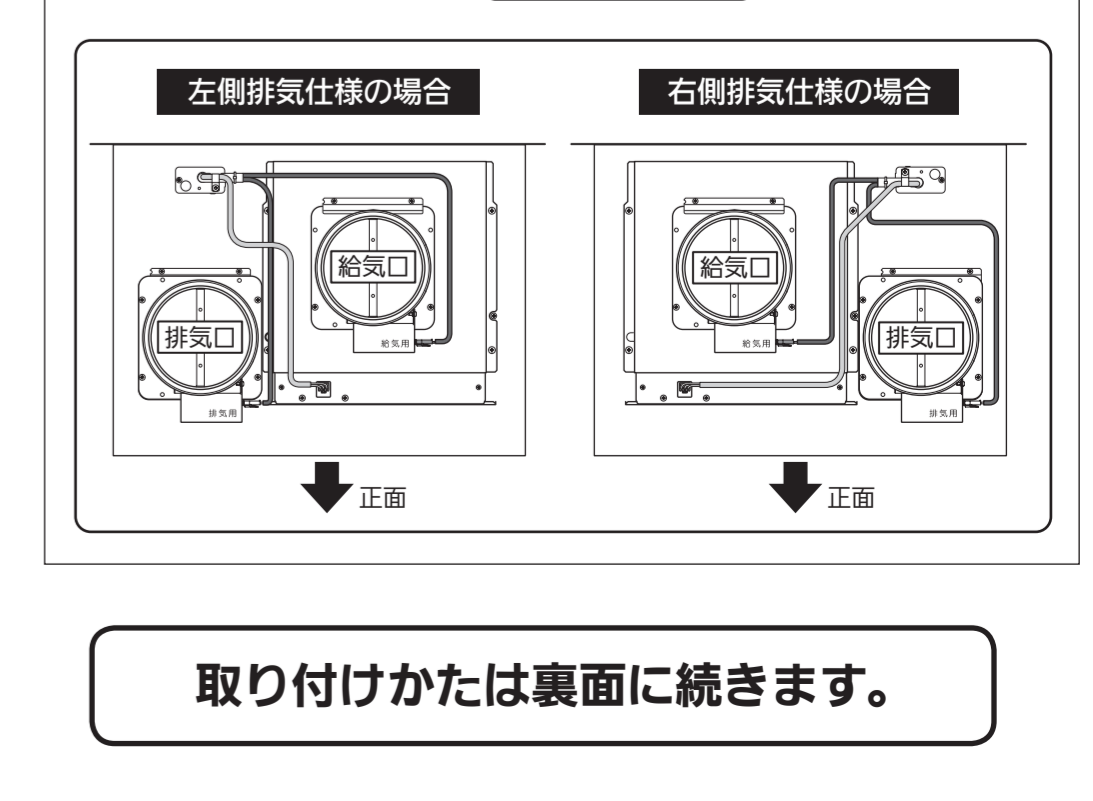
3 本体を壁面に固定します。(図 5-3)
1 付属品の座付ねじ（φ5.1×45）2本でフード吊り金具を固定します（①）。
2 天吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付け、天吊り金具を挟むように締め付けます（②）。
※ フランジ付き六角ナットは取付作業側で手配願います。
3 吊り金具、フード吊り金具、天吊り金具の各部をそれぞれしっかりと締め付けて固定します。

7. 給気口・排気口への運動線接続
1 給気口にコネクターを接続します。(図 7-1)
給気口のコネクター接続部（3P コネクター）に、運動線（3P コネクター）を接続します。
2 排気口にコネクターを接続します。(図 7-1)
排気口のコネクター接続部（2P コネクター）に、運動線（2P コネクター）を接続します。

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります
1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください)
また、コンセントの位置を確認してください。

3 排気口を取り付けます。(図 4-3)
排気口を排気アダプターの上の穴に、付属品のナベねじ（M4×8）4本で取付けます。取付方向は右図を参照してください。

お願い
本体の水平度を確認しながら固定してください。(図 5-3)
この状態で座付ねじを締め付けます。



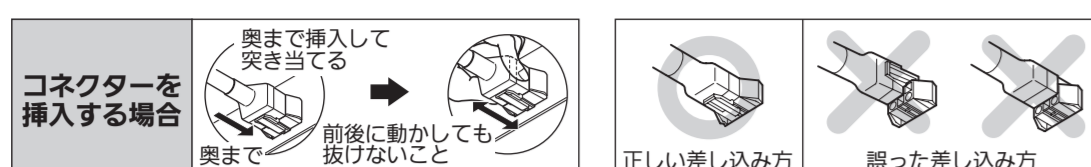


こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

## 取り付けかた

### お願い

- コネクターの接続は確実にこなしてください。接続が不十分な場合、正しく給気・排気ができなくなり、故障などの原因になります。また、電源線、運動線は挟まないようご注意ください。
- コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
- 給気口・排気口の取付位置が間違っている場合、配線が届かないことがあります。その場合は給気口・排気口を取り付け直してください。



## 8. 取扱説明書およびオイルバック 固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
- 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルバックを固定しているテープをはがします。固定テープをはがした後は整流板をもとどおりに取り付けてください。

## 9. 電気配線

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**  
発火・感電したり、異常動作しけがをすることがあります
- 交流 100 V 以外では使用しないこと**  
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと**  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること**  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

### お願い

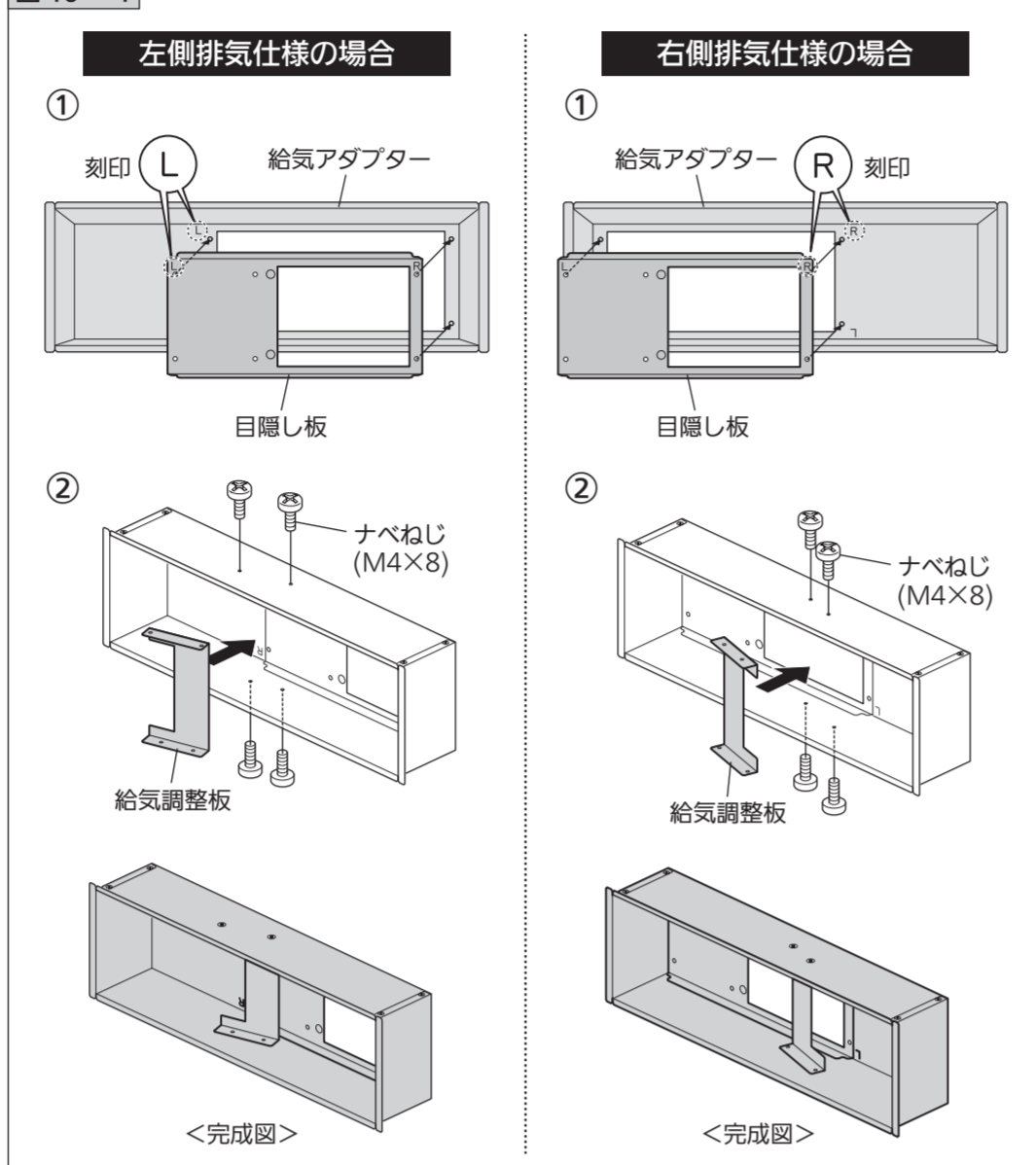
- 電源は専用のコンセント（2極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- 「12. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さ（機外長約 1m）を考慮し、設置してください。
- 必ずアース工事（D 種接地工事）をしてください。

## 10. 給気アダプターの組み立て・取り付け

### 1 給気アダプターを組み立てます。(図 10-1)

- ※ 右側排気仕様・左側排気仕様で給気アダプターの組み立てかたが異なります。
  - ※ 組み立てる前に、キズ防止用の保護シートをすべてはがしてください。
- 給気アダプターと目隠し板の刻印（LまたはR）が同じになるようにして、目隠し板を給気アダプターにはめ込みます（①）。  
※ 給気アダプターの開口部四隅の穴と、目隠し板の四隅にある穴が合うようにはめ込んでください。  
※ 目隠し板と給気アダプターの向きにご確認ください。間違った向きではめ込むと、次の手順で給気アダプターが給気ユニット開口部をふさいでしまったり、本体に正しく取り付けられなくなります。
  - 組み立てた給気アダプターの図の位置に、給気調整板を付属品のナベねじ（M4×8）4本で取り付けます（②）。  
※ 給気調整板の向きを確認してください。間違った向きでは4ヶ所のねじ穴が合いません。

図 10-1

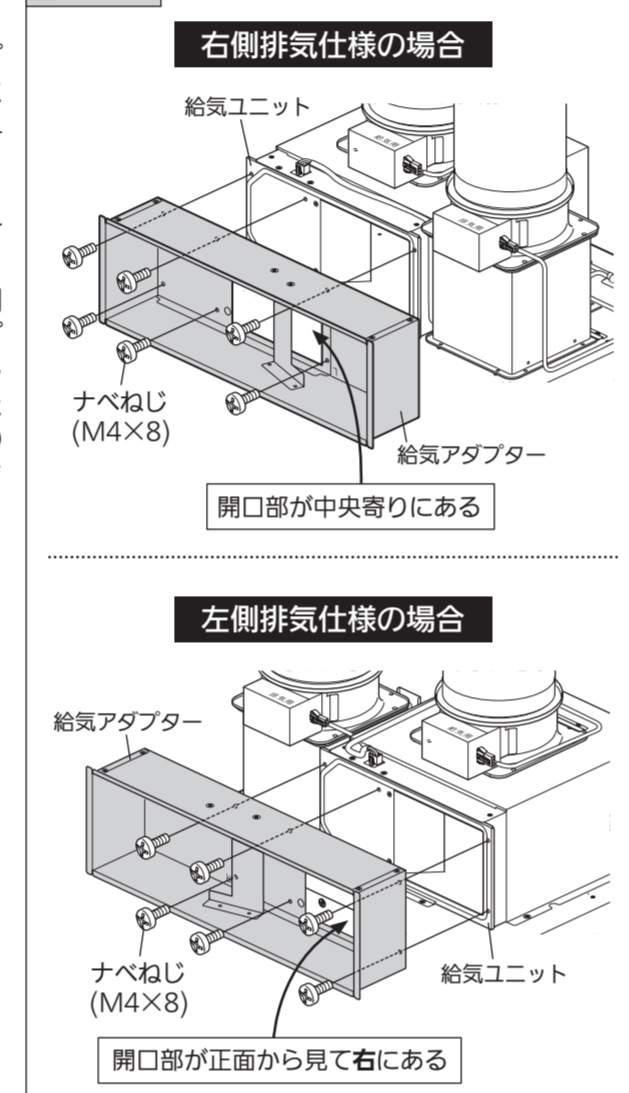


### 2 給気アダプターを本体に取り付けます。(図 10-2)

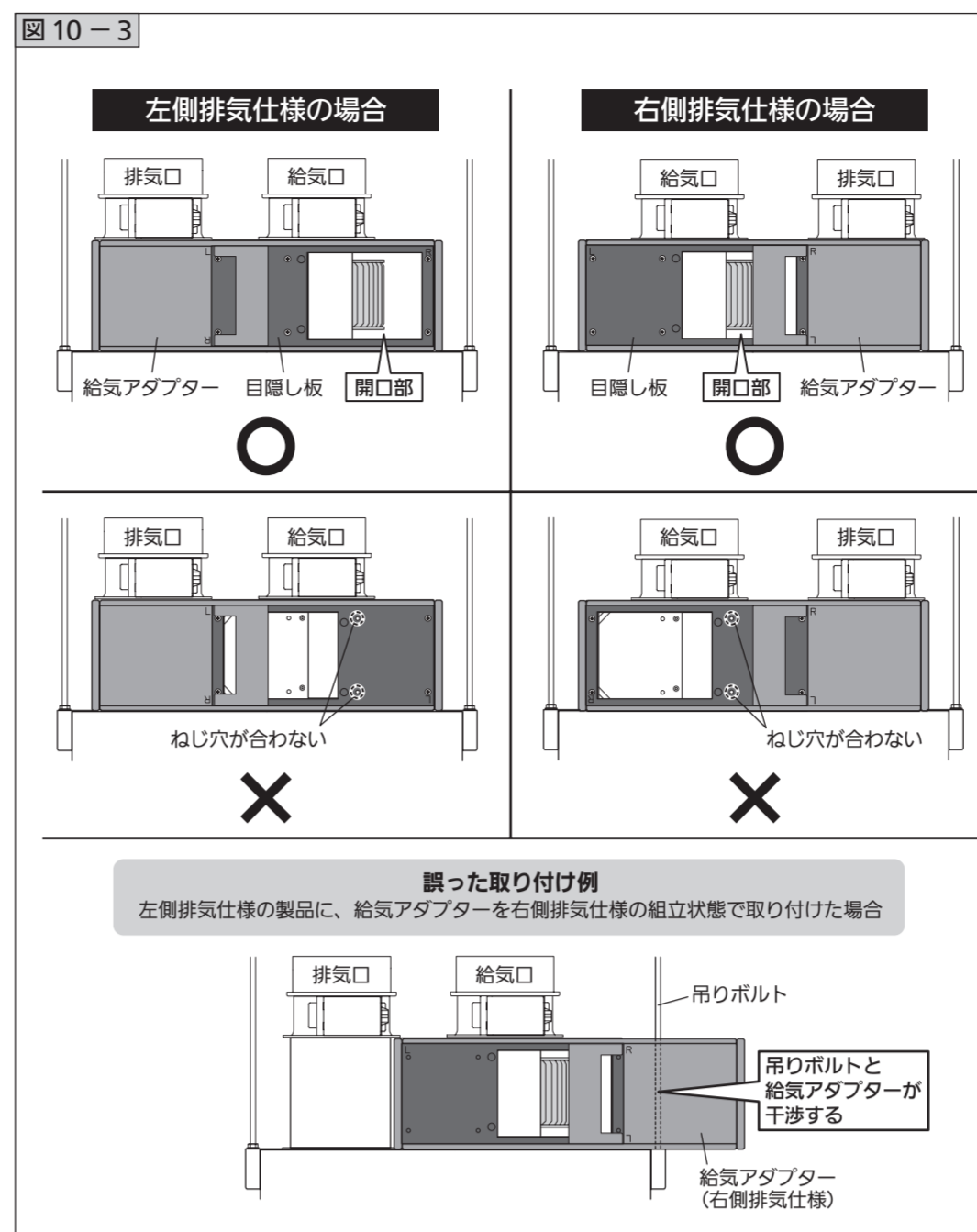
前手順で組み立てた給気アダプターを給気ユニットの開口部に合わせ、付属品のナベねじ（M4×8）6本で固定します。

- ※ 給気アダプターの取り付け向きを確認してください。給気アダプターの向きが間違っていると、給気アダプターが吊りボルトと干渉してうまく取り付けられなかったり、次の手順で給気幕板の取り付けができなくなります。
- ※ 右上の「給気アダプター取り付けイメージ（正面からの図）」も参照してください。

図 10-2

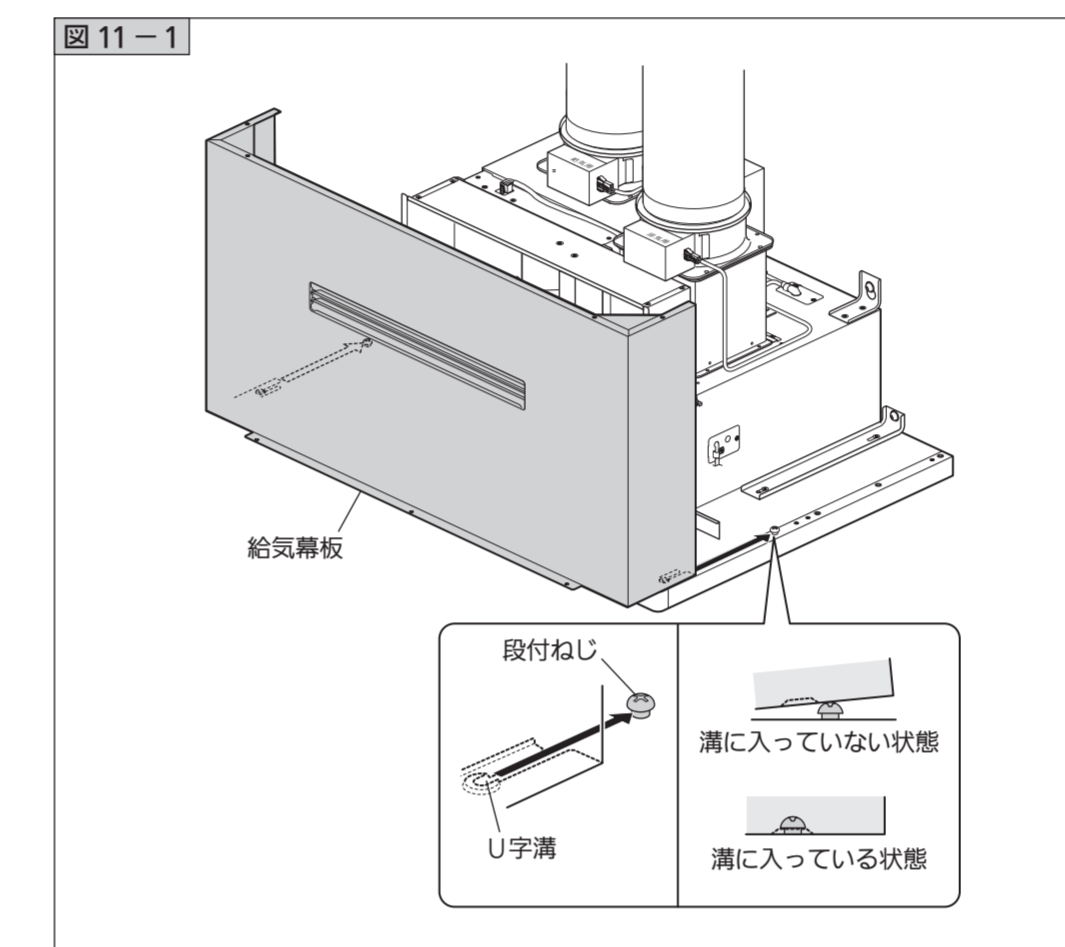


### 給気アダプター取り付けイメージ（正面からの図）(図 10-3)

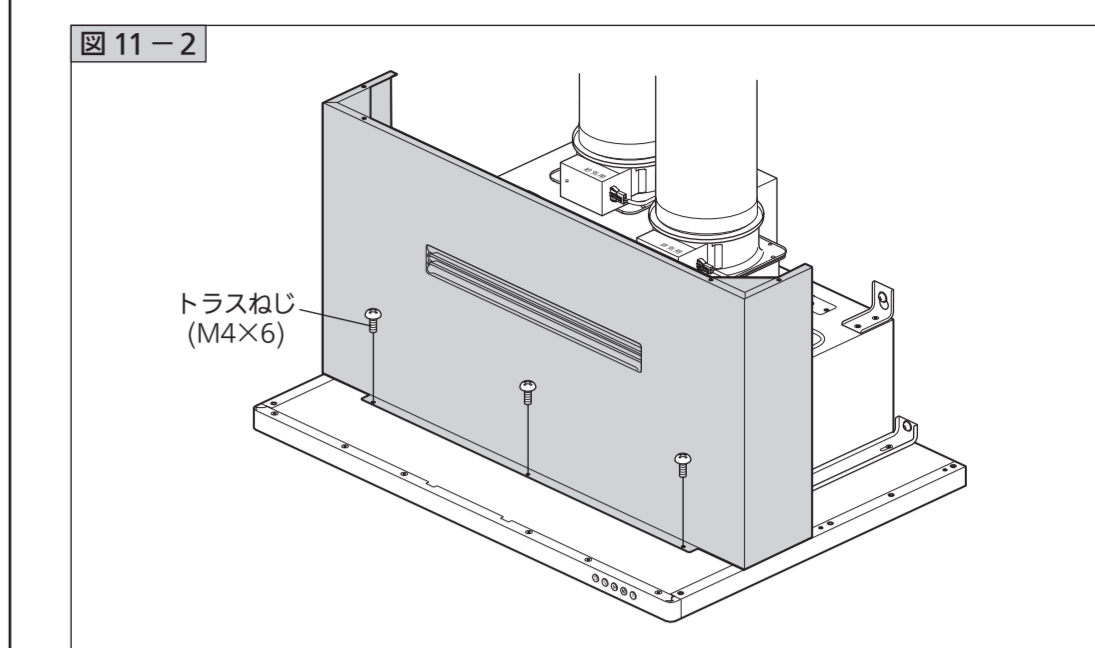


## 11. 給気幕板の取り付け

### 1 給気幕板の左右底面にある U 字溝を、フード左右の取付部にあらかじめ取り付けられている段付ねじに差し込みます。(図 11-1)



### 2 給気幕板の前側下部 3ヶ所を付属品のトラスねじ（M4×6）3本で固定します。(図 11-2)



## 12. 試運転

### 注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをすることがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気・給気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。
- 給気幕板のルーバーを調整して、給気風が直接天井面や顔に当たらない方向にセットしてください。

## 13. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号  
TEL 042(768)3754 (営業部)